図書館だより



宇都宮市立桜小学校図書室
令和８年度４月号

新１年生のみなさん，入学おめでとうございます。そして，新２年生から新６年生のみなさん，進級おめでとうございます。

令和８年度の桜小学校図書室では，いろいろな種類の本を紹介していこうと思います。みなさんが大好きな本とたくさん出会えますように。

桜小学校図書室のきまり

①本を借りたり返したりできる時間について

・月曜日から金曜日までの**業間と昼休み**に本を借りたり返したりすることができます。

②借りられる冊数と期間について

・**１人３冊まで**借りられます。
・借りられる期間は**１週間**です。返す日を守りましょう。
・本を借りられるのは**１日１回まで**です。
・本を借りるときは，**「○年○組なまえです。借ります。」**と言います。
・本を返すときは，**「返します。」**と言います。
・大切にあつかうためにも，本を入れる**手提げバッグ**をもってきてください。



③本の予約について

・借りたい本が図書室にないとき，優先的に借りることができます。予約は**１人１冊まで**です。

④しおりについて

・本を５０冊借りるごとにカラーしおりを１枚もらえます。
さらに４月から３月までの間に１００冊借りるごとに，特別しおりが１枚もらえます。

⑤その他

・**本をたいせつにあつかってください**。
本を投げたり，らくがきしたり，ハサミで切ったりしてはいけません。
・本を破いてしまったり，ページが取れたり，なくしてしまったりしたときは図書室の先生に伝えてください。

第６８回　春のこども読書週間

「ことばがきみのはねになる」



子どもたちにもっと本を！との願いから，「こどもの読書週間」は１９５９年にはじまりました。もともとは，５月５日の「こどもの日」を中心とした２週間（５月１日～１４日）でしたが，２０００年より，今の４月２３日（世界本の日・子ども読書の日）～５月１２日になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは，子どもが大きくなるためにとても大切なことです。「こどもの読書週間」のあいだ，図書館や本屋さん，学校などで，読み聞かせや人形劇などの楽しい行事がいっぱい行われます。「こども読書週間」は，大人が子どもに本を手わたす週間でもあるのです。

（読書推進運動協議会より）



４月３０日は図書館記念日

昭和２５年４月３０日，図書館サービスなどが明確に制定された図書館法が公布されました。日本図書館協会は，今日の図書館発展の基盤となったこの日を記念して，４月３０日を「図書館記念日」としました。図書館にまつわる図書を６冊紹介します。



としょかんライオン

著者：ミシェル・ヌードセン／出版：岩崎書店

図書館は，町の人たちが本を読んだり，借りたりするところ。図書館には，だれでも入れます。それって，ライオンでも入れるの？



図書館がくれた宝物

著者：ケイト・アルバス／出版：徳間書店

1940年，ロンドン。ドイツとの戦争が始まったばかりの英国。ロンドンから疎開した本の好きな３人きょうだいの心あたたまる物語です。



晴れた日は図書館へ行こう

著者：緑川聖司／出版：小峰書店

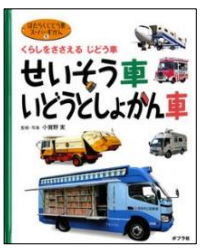
図書館へいくのが大好きな主人公・しおりが，図書館でおこるさまざまな事件を解決していきます……。



図書館のひみつ

構成：オフィス・イディオム／出版：Gakken

図書館には知らないことがいっぱいある。図書館の職員さんは，どんな仕事をしているのかな？レファレンスサービスって何？図書館のひみつがよくわかります。



せいそう車・いどうとしょかん車

監修：小賀野実／出版：ポプラ社

清掃車，移動図書館車など，さまざまなシーンでくらしをささえる車の役割や機能・働きぶりを紹介します。



図書館ラクダがやってくる

著者：マーグリート・ルアーズ／出版：さ・え・ら書房

彼らはなぜたいへんな苦労をして，何百キロも旅して本をとどけるのでしょうか？その答えは，アゼルバイジャンのひとりの図書館員の言葉の中にあります。